

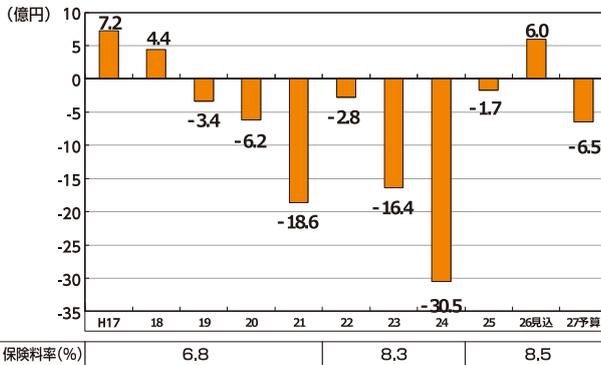
### 平成 27年度

## 予算および事業計画が決定しました。

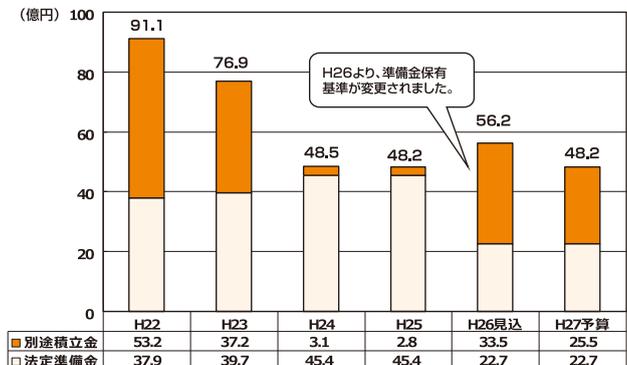
組合会(2月11日)報告

- ◆6.5 億円の赤字ですが、健康保険料率 8.5%(会社 5.16%、被保険者 3.34%)を据え置き、積立金を取り崩して対応します。
- ◆総支出のうち、加入者のみなさまの医療費等を給付する「保険給付費」が 49%、全国の高齢者の方の医療費を支援する「納付金」が 48%を占めます。
- ◆データヘルズ計画(保健事業の実施計画)に基づき、保健事業を一部拡大します。  
→詳しくは、2ページをご覧ください。

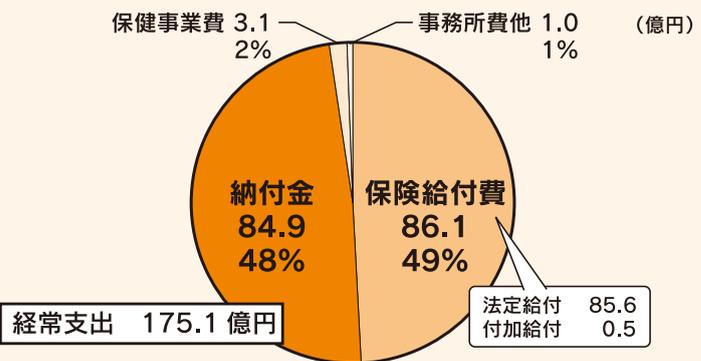
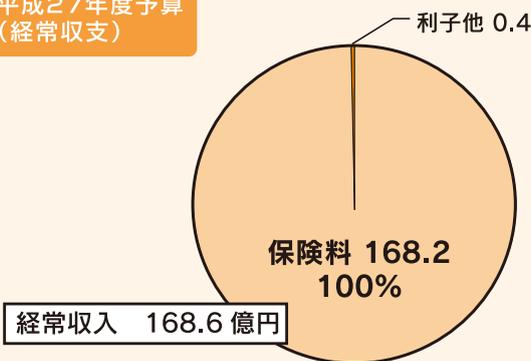
経常収支の推移



積立金の推移



平成27年度予算  
(経常収支)



- ◆介護保険(対象は40~64歳のみ)の料率を改定します。保険料率は単年度見直しを原則としています。平成27年度の介護納付金(介護保険事業の財源として国に納付する健保組合負担額)の支払いにあてるための料率は、現行から0.12ポイント減の1.22%とします。

(単位:%)	平成27年3月分 (4月給与控除)より	← 現行
会社(事業主)	0.61	0.67
本人(被保険者)	0.61	0.67
計	1.22	1.34

### 参考

加入者のみなさまに負担していただく保険料の例

以下報酬の40歳以上の方の場合

- ・給与月額 38万円
- ・賞与年額 150万円

	給与から	賞与から	年間合計
健康保険料	12,692円	50,100円	202,404円
介護保険料	2,318円	9,150円	36,966円
計	15,010円	59,250円	239,370円

# 「データヘルス」平成27年度よりスタート

全国の健保組合は、各々が保有している加入者の健診データ、医療データを分析し、その結果に基づいてより効果的 / 効率的な保健事業を実施するという取り組みを始めることになりました。これを「データヘルス」といい、来年度より、第1期の3年間がスタートします。

マツダ健保におきましても、みなさまの「健康寿命の延伸」、事業主の「健康経営」、健保組合の「医療費の適正化」に向け、データヘルス計画を策定しましたので概要をお知らせいたします。

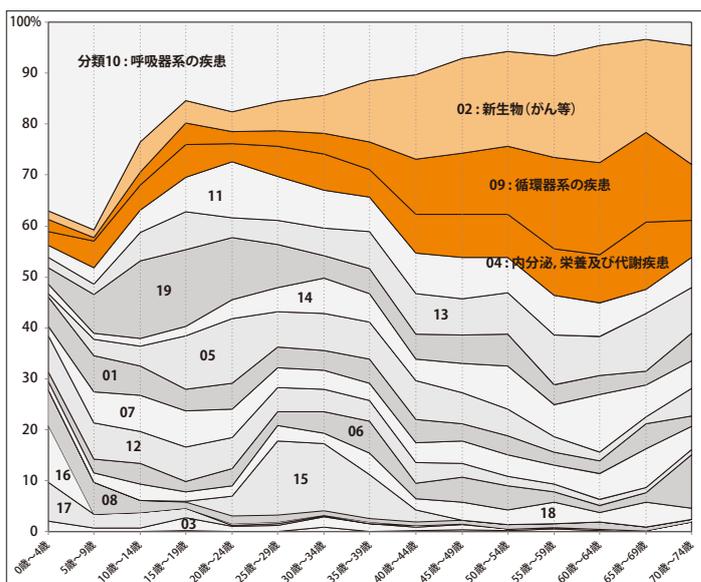
被保険者の生活習慣改善のため、従来にも増して事業主との協働を推進します。特に40歳以上の方々におかれましては、ご自分の健康に関心を持ち、保健事業を健康づくりにご活用くださいますよう、お願いいたします。

## 現状 ① 疾病別の医療費状況

疾病 20 分類別 医療費比率

順位	分類コードと疾病分類名称	比率(%)
1位	10 呼吸器系の疾患	15.7
2位	02 新生物(がん等)	12.0
3位	09 循環器系の疾患	8.6
4位	04 内分泌、栄養及び代謝疾患	6.7
5位	11 消化器系の疾患	6.5
6位	13 筋骨格系及び結合組織の疾患	6.2
7位	19 損傷、中毒及びその他の外因の影響	6.1
8位	14 腎尿路生殖器系の疾患	5.2
9位	05 精神及び行動の障害	5.1
10位	01 感染症及び寄生虫症	4.2
11位	07 眼及び付属器の疾患	4.2
12位	12 皮膚及び皮下組織の疾患	4.1
13位	06 神経系の疾患	3.4
14位	18 他に分類されないもの	2.7
15位	15 妊娠、分娩及び産じよく	2.5
16位	08 耳及び乳様突起の疾患	2.2
17位	16 周産期に発生した病態	1.7
18位	17 先天奇形、変形及び染色体異常	1.5
19位	03 血液及び造血器の疾患	1.1
20位	20 保健サービスの利用	0.3
合計		100.0

年齢階層別 疾病 20 分類別 医療費比率



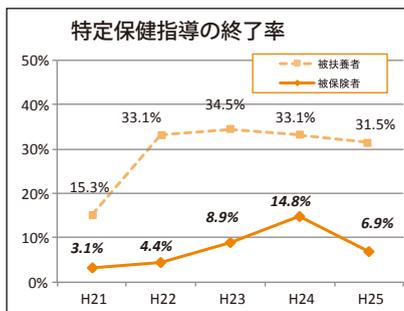
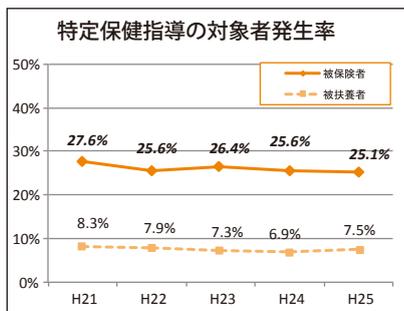
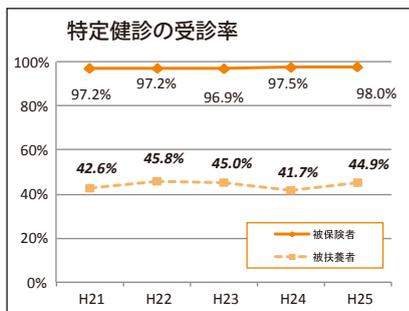
生活習慣病の「新生物(がん等)」「循環器系疾患」「内分泌・栄養および代謝疾患」が2位～4位の上位にあり、3疾病合計で医療費全体の27.3%を占めています。

若年層では「呼吸器系疾患」の割合が高いのですが、40歳以降では「新生物(がん等)」「循環器系疾患」「内分泌・栄養および代謝疾患」といった生活習慣病の割合が高くなります。

## 現状 ② 特定健診・特定保健指導の実施状況

### 特定健診、 特定保健指導 とは？

偏食、運動不足、喫煙、ストレスといった普段の習慣が、高血圧症、糖尿病、脂質異常症、動脈硬化症、心筋梗塞、脳卒中といった生活習慣病の発症、進行に深く関わっていることがわかっています。そこで、40歳以上の人を対象に、健診により「内臓脂肪型肥満があり、加えて高血圧、高血糖、脂質異常のうち2つ以上が重なったメタボリックシンドロームの状態」の人を発見し、保健師/管理栄養士等の専門スタッフが「動機付け支援」「積極的支援」といった、生活習慣の改善をサポートする取り組みが実施されています。



他の健保組合よりも特定健診の受診率が高いと言えます(H24年他健保平均…被保険者81.4%、被扶養者38.6%)。しかし、受診するか否かが本人の意思に委ねられる被扶養者の受診率は伸び悩んでいます。

被保険者の特定保健指導対象者発生率は、他健保よりも高くなっています(H24年他健保平均…被保険者21.5%、被扶養者7.0%)。

被保険者の特定保健指導終了率が低迷しています(H24年他健保平均…被保険者15.8%、被扶養者6.0%)。被保険者に対して特定保健指導を実施している事業主が限られています。

## 現状 ③生活習慣病から見た健康状況

・40歳以上の加入者の10%相当の人は、血糖、血圧、脂質のいずれかに受診した方が良いレベルの異常を抱えています。放置しています。

・生活習慣病が重症化するほど、医療費は急激に増加しています。

### 健康マップ

期間：H25年4月～H26年3月 対象者：40歳～64歳の特定健診受診者（被保険者 & 被扶養者）

← 未通院（生活習慣病治療のための通院歴がない人） →				← 通院 / 入院（生活習慣病治療歴のある人） →			
正常	不健康な生活	患者予備群	治療放置群	生活習慣病	重症化	生活機能低下	
正常値	保健指導が必要なレベル	病院で診察を受けたほうが良いレベル	治療する必要があるレベル	合併症はない状態	合併症に進行した状態	重篤な状態	
血糖：110mg/dl未満 又はHbA1c：5.6%未満	血糖：110mg/dl以上 又はHbA1c：5.6%以上	血糖：126mg/dl以上 又はHbA1c：6.5%以上	血糖：140mg/dl以上 又はHbA1c：7.0%以上	2型糖尿病・高血圧症・脂質異常症のいずれかがあり、合併症はない状態	生活習慣病があり、糖尿病性合併症・脳血管疾患・動脈疾患・虚血性心疾患がある状態	入院を伴う四肢切断急性期・冠動脈疾患急性期・脳卒中急性期、および透析期の状態	
血圧：85/130mmHg未満	血圧：85又は130mmHg以上	血圧：90又は140mmHg以上	血圧：100又は160mmHg以上				
中性脂肪：150mg/dl未満 又はLDL：120未満 又はHDL：40以上	中性脂肪：150mg/dl以上 又はLDL：120以上 又はHDL：40未満	中性脂肪：300mg/dl以上 又はLDL：140以上 又はHDL：35未満	中性脂肪：400mg/dl以上 又はLDL：160以上 又はHDL：30未満				
該当者数の割合	17.0%	25.6%	16.5%	10.2%	22.6%	7.7%	0.4%
該当者1人当たりの年間医療費	7.2万円			25.8万円	53.5万円	209.9万円	

## 健康課題と対策の方向性

### 基本分析による現状把握から見える主な健康課題

生活習慣病の医療費に占める割合が高い。

- 被保険者の特定保健指導の対象者発生率が高い。
- 被扶養者の特定健診受診率が伸び悩んでいる。保健指導の対象者発生率は低下していない。
- 生活習慣病高リスク者で医療機関の受診歴のない人が多数存在する。

### 対策（新規保健事業）

- 事業主とコラボして被保険者特定保健指導等の環境整備 → **対策①**
- 被保険者の特定保健指導の推進 → **対策②**
- 健診結果通知の内容を充実し健康への関心を醸成 → **対策③**
- 要医療受診者への受診勧奨 → **対策④**

## 保健事業の実施計画

New

### データヘルス 新規保健事業

- 対策①**
  - ・事業所ごとの従業員の健康状況等をまとめたレポートを作成します。
  - ・事業所を訪問し、保健事業実施担当者等に健康状況を説明して理解を得ます。
  - ・事業所の健康課題を明示して、必要な健康対策への対応・協働を依頼します。
- 対策②**
  - ・健保委託事業者による特定保健指導への協力事業所を増やします。
  - ・被保険者の特定保健指導実施率を引き上げてメタボの人を減少させます。
- 対策③**
  - ・健診結果の経年変化をまとめた通知書を作成/送付します。（3年以上の健診結果のある方）
  - ・自分の健康状況や将来の病気リスク等を理解してもらいます。
- 対策④**
  - ・健診後の治療放置者（血圧・血糖・脂質等）を抽出し、受診勧奨通知を作成/送付します。
  - ・医療機関への受診をしていただき、早期の治療開始を促進します。



Continuing

### データヘルス 継続保健事業

- 病気の予防・早期発見のために・・・
- 1. 健診事業
  - ＜被保険者の方＞ 30・35歳および40歳以上を対象に、事業主と共同でがん検診も含めた健診を実施
  - ＜被扶養者の方＞ 40歳以上を対象に、基本の健診コース（一般健診コースまたは特定健診コース）を実施（対象者のご自宅に健診案内を送付）※オプション検査（胃部X線・子宮がん・乳がん）を付加可能
- 2. 高齢者訪問健康指導（63歳以上のご家族を対象）

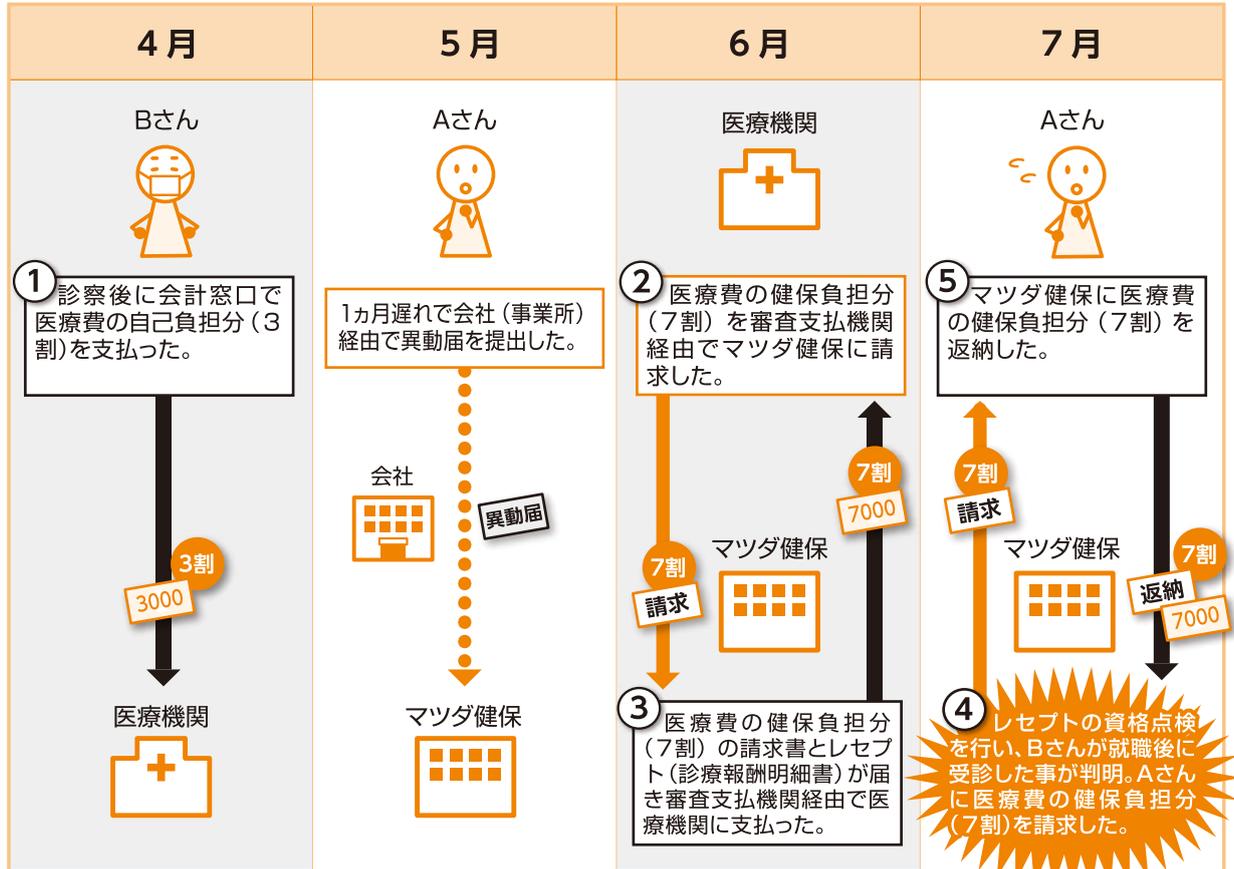
- 保健指導・PRのために・・・
- 1. 機関紙「やすらぎ」の発行（年2回）
- 2. 育児情報誌「お医者さんにかかるまでに」を新生児誕生家庭に配布
- 3. 事業主との共同保健事業：メンタルヘルス対策の強化など加入事業所の事業を支援
- 4. 医療費通知（年3回）・高額減額査定通知の発行
- 5. ジェネリック医薬品自己負担軽減額通知の発行および利用お願しいしールの配布
- 6. ホームページを活用した情報提供

# ！ご家族が就職したら届出をお忘れなく！

## ～保険証の返却は速やかに～

よくある事例

被保険者Aさんの子、Bさんは平成27年4月1日に就職しました。その後風邪をひき、4月3日に医療機関にかかりました。その際、就職先の保険証はまだ交付されておらず、携帯していたマツダ健保の保険証を窓口で提示しました。しかしこの行動がのちのち面倒な事に・・・



上記のように、Bさんが資格喪失後の保険証を窓口で提出したために、Aさん Bさん親子は、結果的に医療費10割と返納の際の振込手数料を負担することになりました。

☆ どうすれば良かったのか・・・就職後はマツダ健保の保険証は絶対に使わない!!

医療機関窓口では就職先の保険証がまだ手元にないことを伝え、医療費の10割を支払います。その後Bさんが、就職先の保険者(協会保健、健保組合、共済組合、国保等)に医療費の健保負担分を請求することができます。

知っとく情報

「あしたの健保プロジェクト」をご活用ください!

健康保険組合の全国組織である健保連(健康保険組合連合会)が開設した、特設WEBサイトでは、増加している医療費問題や、健保組合の現状など、わかりやすく解説されています。

あしたの健保プロジェクト

例えば...

- ◆健康保険の基礎知識...健康保険のしくみについて詳しく解説しています。
- ◆健保のひみつ...みなさまが実際にどのくらい保険料を支払っているかわかります。マツダ健保ホームページ左側の「あしたの健保プロジェクト」バナーより、アクセス可能です。

やすらぎ(No.468)2015年3月発行

発行者 マツダ健康保険組合  
広島県安芸郡府中町新地3番1号 電話(082)287-4644

